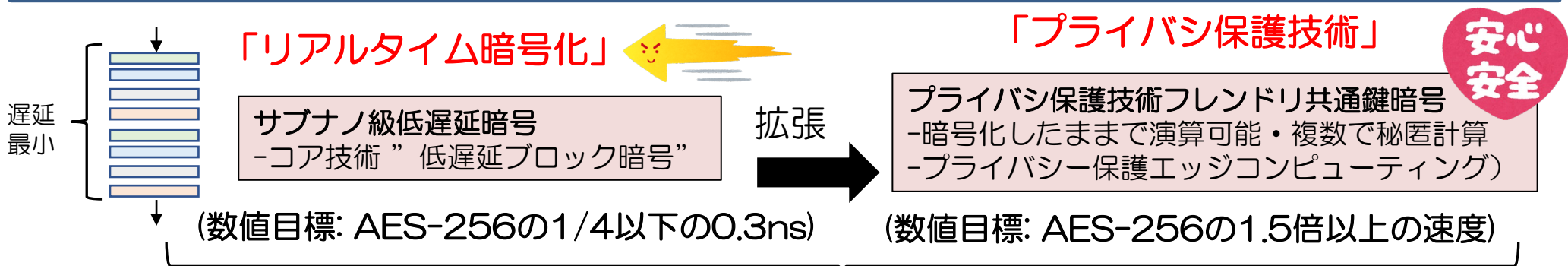


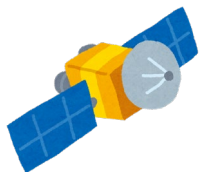
リアルタイム暗号技術とプライバシー保護への拡張

研究概要：「超低遅延」に貢献するセンシング機器向けの「リアルタイム暗号化技術」の開発を行う。この技術をセンシング機器に組み込みことで、フィジカル空間で取得したセンシングデータを、超低遅延でサイバー空間に転送可能となり、サイバー空間とフィジカル空間で安全でかつシームレスなデータ連携が可能となる。さらに暗号化したままで統計処理等が可能な技術とのハイブリッド利用可能な技術に拡張することで、超多数接続においてもプライバシー保護を可能とする。



研究成果展開: IETFでの標準化活動およびOSS活動

AES: Advanced Encryption Standard
IETF: Internet Engineering Task Force
OSS: Open Source Software



応用例

- リアルタイム遠隔操作/自動運転
- 光衛星通信、海中・水中通信
- 時空間同期でのロボット操作など



サイバー空間とフィジカル空間で安全でかつシームレスなデータ連携

【契約期間】令和4年度（継続評価予定）

【契約総額】約0.5億円

【受託者】兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（代表研究者）、GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社